於毛日川の武士

於毛日川上的武士

Samuraı un dı Memórıo Rıbor

大瀛民间歌谣

胡鲤/译

武士の魂：暗闇よ　道見えない

黄泉への旅路寂しい

極寒い　川の側

一人きり　出口を探す

渡航人：SALA（驚愕）　あの方　近づけよ

MANA（疑問）　渡航になりませんか

道のゆき　さざ紛れ

SASU（勧誘）　安寧に早く帰れ

武：ちょっと待って　そっちの娘

この舟よ　どこまで至る？

この世はまだ離れない

兵士たちと戦ってる

渡：あてなる武士様

還るか来るかのは謀れない

かなし　うれし　こひし　にくし

捨てられないことは何

蕭索たる背中映る

この川呑み込める

武：去ることはできないぞ

天下まだ統一してない

つけた傷口燃える

救いをさ　与えてくれて

渡：哀れなる殺さるる人ぞ

失ひし物事ぞ　還られぬ

儚き夢　灯籠の如し

暗く深きこの川に隨に

武：徒労に報国に身を誓う

結局何も虚しくなる

一旦命が散り去るまま

目を閉じて息止まる寂しいよ

渡：水を斬らば水更に流る

病み樹の前に万木生え

刹那の天下こそ掴まれね

刀抜かば落つる桜止まず

武：ふり返る瞱（ひかす）を一度見る

風切って切って縁も斬って

走馬灯　万華鏡　路途矢（ろとや）[1]

何もかも捨てて舟に乗り上げ

[1]路途矢：生きる時に経った悲しみと苦しみ、または楽しみや嬉しみ、そのあらゆる事と言うことである。大瀛の民間信仰（の一つ）である。

武士的灵魂：漆黑一片 道路看不见

奔赴黄泉 孑然一身寂无边

极寒行路艰 来到河岸前

孤苦伶仃 等待前路出现

摆渡人：SALA（惊愕）那位 请移步过来

MANA（疑惑）为何还在岸边徘徊

行走在道中 纷纷雪花开

SASU（邀请）不要再 彷徨于安宁之外

武：稍等一下 那边的姑娘

这只小舟 将要航向何方？

我还不能离开 从这世上

士兵们正在 为我献身沙场

渡：人世间身份高贵的武士

性命来去 本非你我谋划事

爱与恨 悲与欢 离与合 终与始

究竟有什么事 烦恼不能释

点点微光映照 背影萧索延滞

尽被眼前大川吞噬

武：可叹天下仍然分崩离析

事业未竟 我还不忍离去

伤口烧灼着 残败的身躯

恳请你将那 圣洁救赎给予

渡：悲怆武士哉 性命已为人夺走

过往事若破镜难圆 似覆水难收

黄粱一梦若一江春水 千万缕愁

江上灯笼不解人情 正兀自随波逐流

武：空自以身相许 七生报国无悔

怎知命陨不毛 踪迹亦难追回

又可恨 一朝化为乌有只得空流泪

阖眼止息但见繁华如烟往事随流水

渡：曾闻道纵抽刀断河上水 水更流

曾闻道万物蓬勃竞发 病树前头

曾闻道天地不以一瞬 人不可留

拔剑空叹满树樱花飘落 空留人哀愁

武：待我暂且回望身后瞱（yè）花开遍野

狂风吹袭不止 与红尘缘作分别

走马灯 万华镜中观生前路途邪（yé）[1]

浮名沉于河中浅斟低唱小舟轻解

[1]路途邪：生时经历的苦与悲、喜与乐，一切的事物，统称为“路途邪”。大瀛民间信仰（之一）。